

令和4年度当初予算（案）説明資料

I	令和4年度主要事業の概要	-----	1
II	主要事業説明資料		
○	「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業	-----	2
○	防災情報システム機能強化等事業	-----	3

危機管理監

I 令和4年度主要事業の概要



当初予算（案）のポイント

広島県防災キャラクター「タスケ三兄弟」

1 基本的な考え方

県民一人一人が、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を強力に展開し、災害に強い広島県の実現を目指す。

2 予算概要

(単位:千円, %)

区分	令和3年度 2月補正予算額 (A)	令和4年度当初予算額			〔参考〕 合計 (A)+(B)	令和3年度 当初予算額 (C)	比較		
		(B)	国支出金	その他			一般財源	(B)-(C)	(B)/(C)
総務費	11,805	1,960,760	5,406	585,909	1,369,445	1,972,565	1,730,980	229,780	113.3

3 主要事業

○ 新型コロナなどにより顕在化した構造的な課題への対応

■ 激甚化・頻発化する気象災害等への対応

◆ 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業（単県）【一部新規】 339,267千円

P 2

<防災教育の推進、県民の避難行動の促進（自助）>

172,254千円

- ・「ひろしまマイ・タイムライン」を普及促進するための、小学校・中学校への出前講座の充実及び自主防災組織等を対象とした防災教室の実施
- ・マイ・タイムラインを実装した防災アプリの活用を促進するための広報プロモーションの展開

<自主防災組織の体制強化（共助）>

63,113千円

- ・地域の災害リスクや呼びかけ体制の重要性を認識するための、セミナー・災害図上訓練・ワークショップの開催
- ・呼びかけ体制を構築した組織の維持・充実を図る訓練の実施等を支援

<大規模災害等への初動・応急対応の強化（公助）>

103,900千円

- ・次期防災情報システムの構築に向けたシステム要件や仕様の検討・事前調査
- ・南海トラフ巨大地震等を想定した市町初動・応急手順書の作成支援
- ・県・市町共同での危機管理人材の確保・育成

○ それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

■ 県民の挑戦を後押し

□ 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる

◆ 防災情報システム機能強化等事業（一部国庫）【新規】〔2月補正〕 11,805千円

P 3

- ・消防庁との情報連携を図るため、広島県防災情報システムを改修
- ・伝送データを大容量化するため、震度情報ネットワークシステムを光回線に切替

Ⅱ 主要事業説明資料

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動展開中！

「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業（単県）【一部新規】



1 目的

いつ起こるか分からない災害から命を守るため、県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践できるよう、「自助」、「共助」、「公助」にわたる、より効果の高い被害防止策を実施する。

2 事業の概要

「ひろしまマイ・タイムライン」を普及促進するための出前講座の充実や防災アプリの活用を促進するための広報プロモーションを展開するほか、自主防災組織による避難の呼びかけ体制構築や南海トラフ巨大地震等を想定した市町初動・応急手順書の作成支援など、より効果の高い被害防止策を実施する。

3 事業内容

(単位：千円)

区分	事業内容	予算額
防災教育の推進、 県民の避難行動の 促進（自助）	<ul style="list-style-type: none"> ○「ひろしまマイ・タイムライン」を普及促進するための、小学校・中学校への出前講座の充実及び自主防災組織等を対象とした防災教室の実施【一部新規】 ○マイ・タイムラインを実装した防災アプリの活用を促進するための広報プロモーションの展開 ○自然災害の疑似体験ができるVR（バーチャル・リアリティ）教材の充実 ○避難行動につながる防災教室・防災訓練への参加機会の確保 など 	172,254
自主防災組織の 体制強化（共助）	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の災害リスクや呼びかけ体制の重要性を認識するための、セミナー・災害図上訓練・ワークショップの開催 ○呼びかけ体制構築やマイ・タイムラインの普及に係る費用助成 ○呼びかけ体制を構築した組織の維持・充実を図る訓練の実施等を支援 ○組織をサポートする防災リーダーを養成・育成する市町への支援 	63,113
大規模災害等への 初動・応急対応の 強化（公助）	<ul style="list-style-type: none"> ○次期防災情報システムの構築に向けたシステム要件や仕様の検討・事前調査 ○南海トラフ巨大地震等を想定した市町初動・応急手順書の作成支援【新規】 ○市町災害対策本部運営に係る図上訓練の実施支援 ○階層別防災セミナーの実施 ○県・市町共同での危機管理人材の確保・育成【新規】 など 	103,900
合 計		339,267

防災情報システム機能強化等事業（一部国庫）【新規】

〔2月補正〕



1 目的

災害時における初動応急対応を強化するため、防災情報システム等を改修する。

2 事業の概要

広島県防災情報システムの改修や震度情報ネットワークシステムの回線切替を実施する。

3 事業内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予算額
防災情報システム 機能強化	消防庁が整備する「被害情報収集・共有システム（仮称）」と 情報連携を行うため、広島県防災情報システムを改修 ※ 「被害情報収集・共有システム（仮称）」 消防庁が各都道府県からメール等により入手している被害情報 を自動収集・自動集計するシステム	9,805
震度情報ネット ワークシステム 機能強化	伝送データを大容量化するため、ネットワークを光回線に切替 ※ 震度情報ネットワークシステム 全市町に設置された震度計で計測された震度情報を県で収集 し、気象庁及び消防庁に自動送信するシステム	2,000
	合 計	11,805